



「ZOOM」で学ぶ！児童が主役となる授業

©岡山県「ももっち」

県教育委員会では、授業改革推進チームと秋田県大館市立城南小学校をZOOMでつなぎ、秋田県の取組を学ぶ希望研修を行っています。今号では、**児童が主役となる授業**についての研修内容を抜粋して紹介します。

授業の特徴について

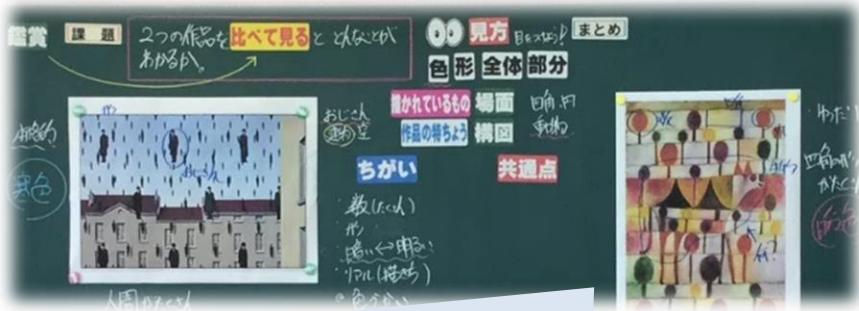
城南小の柴田先生に伺いました！

秋田の普段の授業には、どのような特徴がありますか？

教科により授業の流れが決まっているものもあり、**児童が自立的に授業を進める**場面が多くあります。

また、秋田の先生方は**待つ姿勢**を大切にしています。「**教師が次の指示を出すより、1分待った方が思考が深まる。**」という言葉もよく聞きます。

柴田指導教諭



これは、5年生の図工の時間の様子です。教師は、**コーディネート役に徹し、意図的指名やゆさぶりの発問により、多くの児童が発言できるようにしていました。**

さらに、教師は、児童の思考を止めないよう、指示が矢継ぎ早にならないように留意しています。

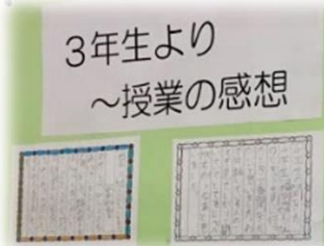
どのようなアプローチが、自治的な子どもを育てるために効果的ですか？

例えば、指導が必要な場面において、「～しなさい。」と言うのではなく「**～するときは、どうするの？**」と問いかけ、**大切な言葉は児童に発言させようとする**先生が多いと感じます。

また、秋田の先生方は、ほめ言葉が豊富で、児童に自信を付けさせるようにしています。さらに、**誤答や途中までの発言を大切に、挑戦することをしっかりと認めています。**



音楽が少し苦手な友だちの演奏をしっかりと聞いています。**児童同士でも挑戦を認め合う**雰囲気があります。



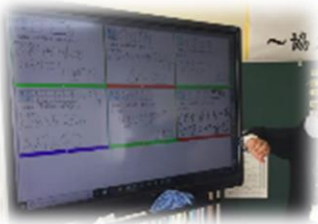
城南小では、**下の学年が上の学年の授業参観し、感想を伝える取組**を行っています。先輩は後輩のいいモデルになろうと頑張っています。

岡山県内の好事例の紹介

ICT機器を活用して**児童を主役にする授業**の一例を紹介します。



5年生の算数では、タブレットを活用し、1週間の貸出冊数の平均をどのように求めたかを書き、考え方を伝え合いました。



ICT機器の活用により、短時間で全員の解答が共有できることから、考え方の分類に多くの時間を割くことができました。また、発表するときには、画面いっぱい解答を拡大することで、**自分の考えを分かりやすく伝え、全員で平均について理解を深めました。**

※上記の写真は、新見市立草間台小学校の取組の様子です。